

第二の故郷に顕彰碑

旭川莊名譽理事長
故江草安彦氏

真庭で除幕式

社会福祉法人旭川荘 碑は真庭市産の真賀（岡山市北区祇園）の石製で、高さ2・1㍎、式には、建立を計画した同市の有志7人で名譽理事長で3月に88幅、奥行き各0・5㍎。つくる発起人会メンバ

歳で死去した江草安彦氏の顕彰碑が、真庭市湯原温泉の多機能型サービス事業所・旭川荘で始めた乳児健診など母子保健活動に尽力した江草氏が生前に語った「真庭を第二の故郷とし、3日、除幕式が行われた。」とを刻んでいる。



―や末光茂旭川荘理事
長、江草氏の長男の江
草明彦テレビせとうち
取締役報道制作局長ら
約350人が出席。発
起人会代表の太田昇市
長が「江草氏が真庭地
域で果たした偉大な功
績を常に思い起こし、
障害者福祉の充実に努
めていきたい」とあい
さつし、関係者10人で
同センターは真庭地
域初の重症心身障害
児・者支援を行う事業
所として昨年5月に開
所。開設にも注力し
た江草氏の遺徳をたた
えようと、病院関係者
や愛育委員らが今年
4月に発起人会を立ち
上げていた。

（小原一穂）

(小原一穂)